

脱炭素の最適化と新しい売上づくり

脱炭素プロジェクト推進リーダー養成講座

オンラインセミナー

～ 脱炭素の環境性と経済性と戦略性のバランス設計 ～

開催日：2021年10月25日（月）
13:00～17:00

地球温暖化を防ぐため、先進国を中心に温室効果ガス削減の取り組みを行っています。日本政府も、2030年度に向け温室効果ガスを13年度比で46%削減するという新たな目標を発表しました。一方、SDGsやESG投資の観点からも、企業はRE100やREActuonに代表されるようなエネルギーの脱炭素を進めていく必要性に迫られており、具現化に向けた活動の準備をしている所も多いと思われま

脱炭素は、環境性の面ではプラスになりますが、一般には経済性の面ではマイナスに働く傾向にあります。また、再エネの導入拡大にあたっては、評価が高い追加性なども考慮に入れることも必要となります。さらには、経営課題として取り組む限りは、やはり競争力向上や新しい売上に結びつくような活動が理想となります。すなわち、脱炭素を実現していくためには、環境性と経済性と戦略性のバランスを取っていくような設計をすることが重要となります。

エネルギー分野については、法的側面での変化が継続的に起きており、エネルギー行政についてウォッチングできる知識は必要です。また、PPA、自己託送という形態やアグリゲーターなどの事業者、アンモニア発電などの技術等、脱炭素の新しい手段が次々に開発されています。そのため、これらを手がける事業者から情報を得ることは大切ですが、自社にて体系的に情報を整理した上で最適な脱炭素の枠組みを構想立案し、脱炭素の仕組みを企業が主体的に設計していくことも重要と考えます。

本セミナーは、企業の収益に大きく影響を与える脱炭素活動を進めていくために整理した必要情報を提供すると共に、構想立案、仕組みの設計を行っていくための考え方と進め方について解説するものです。

本セミナーの特徴

- ◆脱炭素を実現する企業側の立場に沿った内容となっています。
- ◆脱炭素実現手段である技術、商品、サービスを体系的に整理しており、自社の脱炭素の枠組みの構想立案と具体的設計に役立つものとなっています。
- ◆脱炭素の仕組みを構築していくためのプロセスを解説します（仕組み構築は新規事業開発のプロセスに類似しています）。

【講義】

1. 電力行政の変化と企業への影響のメカニズム

①電力業界の基礎知識

- ・電力行政の変化の流れと背景
- ・電力行政における最近の変化の詳細と需要家への影響
- ・脱炭素政策の現状の棚卸し

②エネルギー環境の変化によって生まれた経営課題

- ・第6次エネルギー基本計画(素案)の影響
- ・エネルギーとSDGs、ESG
- ・課題解決で先行する需要家企業の事例

2. 複雑な電力市場の構造を分かりやすく解説

- ・電力を売買する市場の概要と理解のポイント
- ・発電事業者と需要家、電力流通と情報流通
- ・電力市場のプレーヤーと各々の関係
- ・電力の同時同量という特性から発生する問題と新規ビジネス動向
- ・需要家企業はどことどのように付き合うのか

3. 脱炭素手段のビジネス構造マップ

- ・仕組みから見た脱炭素手段とその特徴(PPA、自己託送、VPP、DR、自社発電、グリーン電力証明 など)
- ・技術から見た脱炭素手段とその特徴(再エネ、水素、燃料アンモニア、CO2吸収、CCS、環境発電 など)
- ・脱炭素ビジネス構造マップ
- ・脱炭素ビジネス構造マップの使い方

4. 企業における脱炭素構想立案のポイント

- ・環境性と経済性と戦略性(脱炭素3要素)のバランス
- ・少ないCO2で多くの価値を生み出す仕組みの考察
- ・脱炭素とDX(デジタルトランスフォーメーション)の関係
- ・脱炭素構想立案のポイント

5. 脱炭素プロジェクトの進め方

- ・企業が主体的に構想と計画を作る理由
- ・企業内のエネルギー消費とCO2排出量の現状把握
- ・方針、目標の設定と脱炭素ギャップの見える化
- ・脱炭素ギャップを埋める手段の組合せアイデアの検討
- ・脱炭素の仕組みの概要設計
- ・脱炭素の仕組みの詳細設計
- ・仕組み開発の計画立案

6. 脱炭素による競争力向上と新しい売上づくりのヒント

- ・顧客価値の体系と環境価値の位置付けとは
- ・脱炭素プロジェクトでビジネスモデルを見直す
- ・脱炭素の流れからビジネスチャンスを見つける

7. CO2排出量の現状把握の方法

①算定前に必要な基礎知識

- ・GHGプロトコルの概要について
- ・サプライチェーン排出量計算が求められる理由について
- ・実際の算定事例について
- ・GHGの種類について
- ・SBT.CDP.Re100について
- ・排出原単位データベースについて

②排出量計算のプロセス

- ・具体的な算定の手順について
- ・排出量計算の基本式について

③スコープ1.2.3 計算項目と計算式

- ・スコープ1の解説と算定方法について
- ・スコープ2の解説と算定方法について
- ・スコープ3の15のカテゴリの解説と算定方法について
- ・算定結果の出し方について

講師プロフィール

株式会社リーディング・イノベーション 代表取締役社長／新規事業開発上級職人 芦沢 誉三

1982年 早稲田大学理工学部卒業。石油開発のエンジニアリング会社を経て、日本能率協会コンサルティングに入社し、約13年間、新規事業開発、及びマーケティング関連のコンサルティングを行なう。その後、一部上場メーカーにて新規事業開発に携わり、別会社として独立し取締役に就任。現在、(株)リーディング・イノベーションの代表取締役／新規事業開発上級職人として、大手・中堅の新規事業開発、研究所発の新規事業開発、研究テーマ開発など、中小企業の新規事業プロデュースの支援を行なっている。

BelieveTechnology株式会社 代表取締役 渡邊 信太郎氏

2010年西南学院大学商学部卒業後、太陽光発電販売会社にて営業責任者を務める。2020年カーボンニュートラル宣言後、脱炭素について強い関心を持ち、環境コンサルティング会社Believe Technologyを設立。企業のCO2排出量計算支援をおこなっている。

BelieveTechnology株式会社 代表取締役副社長 角田 翔太郎氏

2014年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。大手日用品メーカーで研究職として、7年間、化学・生物分野の基盤研究に携わる。途中、2年半中国に駐在し、現地で新規研究開発テーマを立ち上げた経験を持つ。その後、直接的に社会課題をビジネスで解決したいとの思いからBelieve Technologyに参画し、現在、脱炭素の活動を広く支援するべく活動を進めている。

お申し込み

脱炭素の最適化と新しい売上づくり

「脱炭素プロジェクト推進リーダー養成講座」 オンラインセミナー

～ 脱炭素の経済性と環境性と戦略性のバランス設計 ～

◆お申し込み方法

下記のいずれかの方法にてお申し込みください。

- ①下記のお申し込みフォーマットに必要事項を記入し、FAXにてお申し込みいただく。
- ②下記お問合せ先にあるメールアドレスより、お申し込みいただく。

◆開催日

2021年10月25日(月) 13:00～17:00

◆開催方法

Zoomによるオンライン開催

◆参加費用

30,000円(消費税込み)／人

貴社名			
住所	〒		
ご参加者①	部署	役職	
	お名前	TEL.	E-mail
ご参加者②	部署	役職	
	お名前	TEL.	E-mail

お問い合わせ

株式会社リーディング・イノベーション
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビル6階
Tel.03-5953-8950 FAX.03-5953-8862

担当:高橋
URL:<http://www.lead-in.com>
E-mail:takahashi@lead-in.com



あなたの会社の新しい売上を創出する
「事業化プロデューサー養成講座」
リーディング・イノベーション著
明日香出版社



図解入門ビジネス 最新LLPとLLCの
基本と仕組みがよくわかる本」
リーディング・イノベーション著
秀和システム



「ビジネスレイヤー別-新規事業開発
実践ガイド」
リーディング・イノベーション 芦沢誉三著
企業研究会